

ノーベル平和賞

先週、大きなニュースが飛び込んできました。日本原水爆被害者団体協議会、略して「日本被団協」と呼びますが、ノーベル平和賞を受賞したというニュースです。

今から約 80 年前、日本はアメリカと戦争をしていました。1945 年 8 月 6 日には広島に、8 月 9 日には長崎に原子爆弾が落とされたのです。6 年生になると歴史のお勉強で学習すると思いますが、この原爆で亡くなられた方は、20 万人を超えます。戦争が終わってからも、放射線によって多くの方々が苦しめられました。この原子爆弾で、被害にあった方や後遺症が残る方々を「被爆者」と呼んでいるのです。

それから 9 年後、太平洋で第五福竜丸というマグロ漁船が、水爆実験によって被爆したのです。乗務員 23 名全員が被爆者となったのです。

このことがきっかけとなって、被害にあった方々を中心とした組織「日本被団協」が結成されたのです。

結成の宣言では、「人類は私たちの犠牲と苦難を再び繰り返してはいけません」と核兵器の廃絶を訴えました。それ以来、世界の様々な国や地域で、核兵器の廃絶運動が広がりました。今回のノーベル平和賞の受賞によって、

「ノーモアヒロシマ ノーモアナガサキ ノーモアヒバクシャ」と訴え続けた被団協が世界に認められたと言えます。

原爆によって被爆した人たちは、もう 80 歳を超えています。被爆者と呼ばれる方々は、ご高齢で年々少なくなっているのです。また、世界の中には、核兵器の脅威にさらされている国がいまだにあるのです。

これからは、この不幸な出来事をどのように伝えていくか、どのように核兵器のない世界をつくっていくかを考えなくてはなりません。次は、皆さんが考えていく番です。